

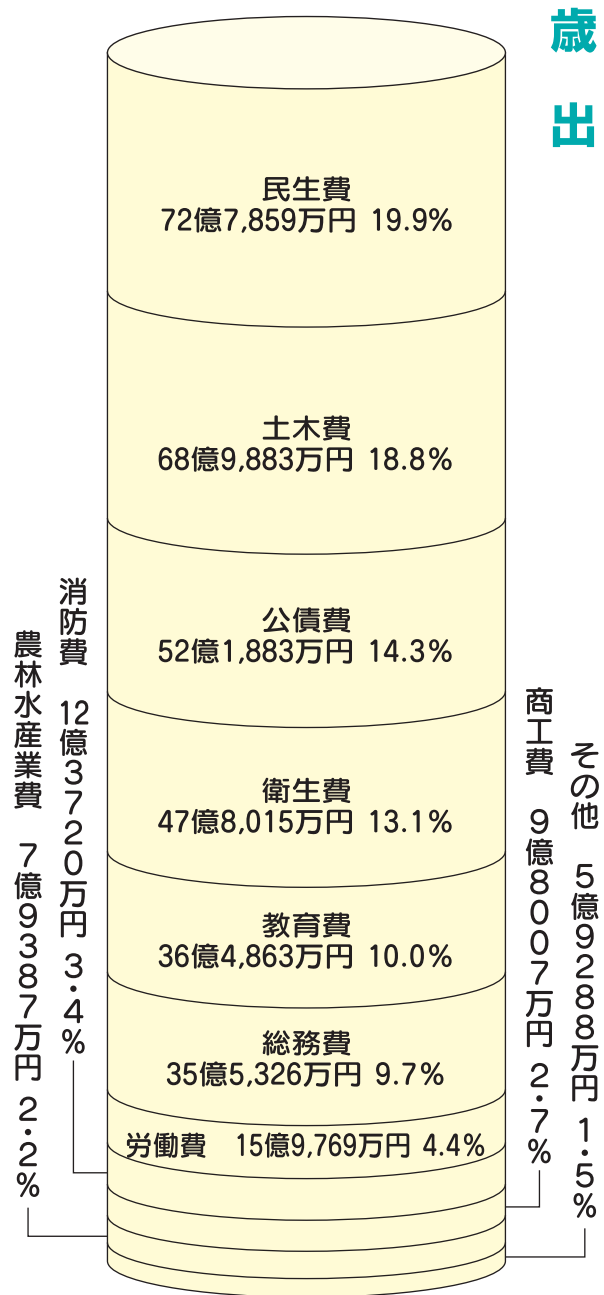
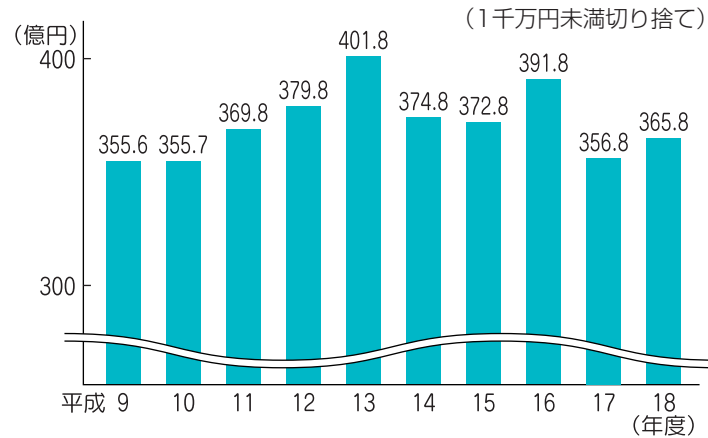
平成18年度 当初予算額

総額848億4,780万円（前年度比1.0%増）

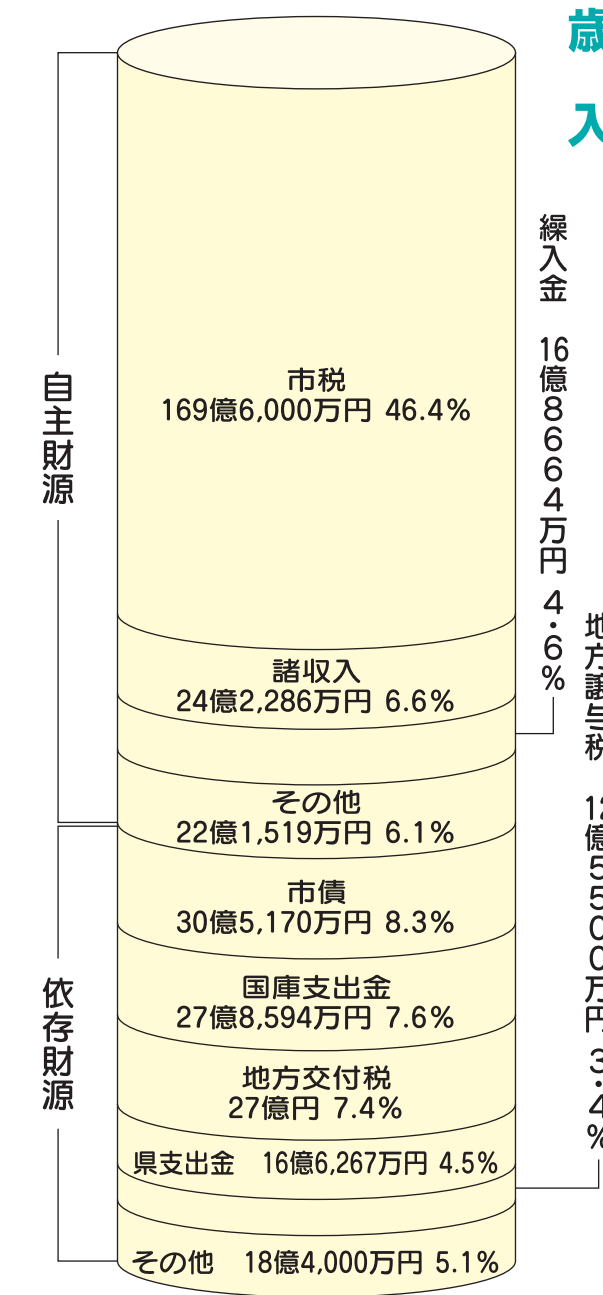
内訳	会計名	予算額	前年度対比
内	一般会計	365億8,000万円	2.5%
	特別会計	278億6,480万円	1.1%
	国民健康保険事業	98億1,500万円	1.9%
	簡易水道事業	580万円	28.9%
	土地取得	5,800万円	68.8%
	公共下水道事業	34億4,700万円	0.6%
	駐車場事業	1,700万円	15.0%
	老人保健	80億300万円	1.3%
	農業集落排水事業	3億2,900万円	62.1%
	介護保険	61億9,000万円	0.0%
	公営企業会計	204億300万円	△1.7%
	病院事業	173億4,000万円	2.9%
	水道事業	30億6,300万円	5.7%

はマイナスを表します

一般会計当初予算額の推移



歳出



歳入

一般会計当初予算額
365億8000万円

※パーセントは構成比
用語解説は4ページ
をご覧ください。

平成18年度市の予算
住みよいまちづくりの実現へ

問 財政課 643・3111 内線352

市では、1年間を1つの単位としてどんな仕事に、いくらお金が必要なのか、そのお金をどのように調達するのかという予算を立てます。地震対策などに重点をおいた、平成18年度市の予算をお知らせします。

第4次市総合計画に基づき予算を編成

4月から「第4次市総合計画・後期計画」がスタートしました。市の予算は、この計画に基づき編成されています。平成18年度は、次の3つを施策の柱に掲げ、住みよいまちづくりと市民福祉の向上を目指して取り組んでいきます。

- ☆健康でいたわりのある福祉・保健の充実
 - ☆安全・安心のまちづくりと産業の振興
 - ☆心豊かな教育と文化・スポーツの振興
- また、第4次市行政改革新行動計画に基づき、今年度は、職員定数の適正化や給与の抑制、指定管理者制度への移行などに取り組み、より一層の行政改革を積極的に推進し、効率的な財政運営に努めていきます。

3つの財布に分けて経理

市の会計は、「一般会計」「特別会計」「公営企業会計」という3つの財布に分けて経理します。

歳出では民生費がトップ

「一般会計」は、行政を運営するための基本的な経費を中心に経理します。「特別会計」は、一般会計から切り離し、下水道事業や国民健康保険事業など事業ごとに経理します。その他に、病院事業・水道事業を経理する「公営企業会計」があります。

平成18年度の一般会計予算額は、365億8千万円で、前年度当初予算に対し2.5%の増加となりましたが、この要因は、駅南口西地区ABC街区用地売却予定額7億円を計上するためです。この要因を除くと実質0.6%増の予算となりました。

歳出では、民生費が土木費を上回り市政初めの1位となりましたが、これは少子・高齢社会へ対応するためです。また、駅南口西地区ABC街区用地売却予定額7億円は、一旦、基金に積み立て計画的に学校施設などの地震対策に使います。

特別会計は8会計合計で278億6480万円になり、公営企業会計は2会計合計で204億300万円となります。

市では、限られた財源の重点的・効率的配分に配慮し、国・県支出金の活用や各種基金の有効活用を図りながら財源を確保し、健全な財政運営に努めていきます。



健康でいたわ 福祉・

福祉

福祉施設の充実に 1億4,422万円

- 精神障害者共同作業所施設整備への助成<新規>
- 放課後児童クラブ施設整備費(藤枝小学校新設、大洲小学校拡大)
- 私立幼稚園・保育所施設整備費補助金(藤枝保育園の改築など) ほか

高齢者の福祉の向上に 6億1,979万円

- 生きがい対応型デイサービス事業(いきいきサロンの里)(指定管理者制度)
- 老人福祉センター藤美園管理運営委託(指定管理者制度)
- 地域包括支援センター運営費(開寿園ほか)<新規>
- ねんりんピック静岡2006事業への助成 ほか

児童の健全育成に 19億9,996万円

- 放課後児童健全育成事業
- 母子家庭自立支援教育訓練給付金事業<新規> ほか

障害者などの福祉の向上に 10億1,511万円

- 知的障害者デイサービス事業(第5すみれの家拡大)
- 重度心身障害者タクシー料金助成(2級視覚障害者拡大) ほか

介護保険事業の充実に 9億6,369万円

- 介護保険特別会計への繰出金
- 介護保険低所得者負担軽減事業 ほか

各種医療費の助成に 5億5,603万円

- 重度心身障害者・精神障害者などへの医療費の助成
- 乳幼児医療費の助成(6歳以下の未就学児の入院・通院) ほか

社会福祉活動の推進に 4億2,362万円

- 生活保護援護事業 ほか

健康・環境

母子保健の推進に 3,799万円

- 母子・乳幼児保健事業(妊婦健診、乳幼児健診、療育相談、乳幼児虐待予防事業ほか)
- 母子保健福祉地域ケアシステム推進費 ほか

健康診査事業に 4億5,818万円

- 基本健康診査、歯周病疾患検診、がん検診
- 脳ドック・人間ドック・ミニドックへの助成 ほか

健康づくりの推進に 1億7,334万円

- 予防接種事業(ポリオ、日本脳炎、二種・三種混合、麻しん風しん混合、インフルエンザなど)
- 市民健康づくり事業 ほか



平成18年度中に完成を目指す市立総合病院立体駐車場のイメージ図。建設場所は敷地内の西側奥。

《平成18年度に取り組む主な事業》
福祉・健康・環境
市では、急速に進む少子・高齢社会を迎え、高齢者や障害者の自立と社会参加、子育ての支援に取り組めます。主な取り組みとして、精神障害者共同作業所開設への助成、第5すみれの家などの知的障害者の自立支援、高齢者を家庭・地域社会全体で支え合う施策の推進、放課後児童対策については、新たに藤枝小学校に放課後児童クラブを設置します。
市立総合病院では、立体駐車場、小児医療施設整備事業に取り組むとともに、より一層市民に信頼される病院となるよう、充実した医療サービスの提供に努めます。
環境衛生対策としては、一般廃棄物処理基本計画の見直し、ごみの減量化対策などに取り組むとともに、環境基本計画に基づいた環境施策の推進を図っていきます。

りのある 保健の充実

救急医療対策に 1億2,347万円

- 志太榛原地域救急医療センター運営費(指定管理者制度)
- ゴールデンウィーク・年末年始歯科診療の運営委託 ほか

国民健康保険事業への繰出金 5億9,406万円

老人保健事業への繰出金 5億9,882万円

医療の充実に 22億5,081万円

- 市立総合病院立体駐車場整備・小児医療施設整備事業
- 地域医療協力事業補助 ほか

健康の保持と増進に 3,118万円

- サンライフ藤枝の管理運営費(指定管理者制度)
- 各種スポーツの振興(スポーツ教室等の開催) ほか

清潔で衛生的な環境整備と環境保全の充実のために 17億5,577万円

- 小型合併処理浄化槽設置助成
- 飼いねこ・飼い犬対策
- 住宅用太陽光発電システム設備設置補助金 ほか

平成18年度 行財政改革における予算反映額

企画政策課 内線313

「第4次市行財政改革大綱新行動計画」に基づいて行う取り組み事項のうち、平成18年度に実施する項目とその予定される効果額の一部をお知らせします。

増...収入増加 減...経費削減

庁内経費の削減	1億8,133万円	減
公共下水道未加入世帯加入促進	780万円	増
市民課証明書発行・住民基本台帳入力業務の民間委託	407万円	減
市有地の処分推進	8億2,000万円	増
時間外勤務手当の削減	1,100万円	減
臨時職員の計画的削減	2,100万円	減
土地開発公社の健全化	5,208万円	増
議員定数の削減	2,186万円	減
職員の削減・配置の適正化	1億5,200万円	減
職員手当の見直し	260万円	減
給与構造改革の実施	9,750万円	減
市税の確保	3,000万円	増
国民健康保険税の確保	1,900万円	増
介護保険料の確保	210万円	増
保育料の確保	60万円	増
指定管理者制度への移行	7,594万円	減
その他	65万円	減

効果額 収入増加 9億3,158万円
経費削減 5億6,795万円

用語解説

自主財源/市が自主的に収入できるお金で、これが多いほど自治体としての自主性と安定性が確保できていることになりやす
依存財源/国や県などの方針で決められているお金や市債など、市が自分以外のところに頼る財源です
市税/市民のみなさんに納めていただいた税金です
諸収入/預金利子などの歳入科目に含まれない収入です
市債/国や銀行からの長期借入金です
国庫支出金・県支出金/市の事業に対する国や県からの補助金や負担金です
地方交付税/各地方自治体の財政均衡を図るため、県や市町村の財政力に応じて国から交付されるお金です
地方譲与税/自動車重量税やガソリンに含まれる地方道路税など、国税として徴収された後、県や市町村に一定の基準で譲与されるお金です
民生費/乳幼児やお年寄り、体の弱い人などを支援する経費です
土木費/道路や講演などを整備や維持する経費です
公債費/借入金を返済する経費です
衛生費/住民検診、予防接種やごみ収集などの経費です
教育費/小・中学校や公民館などの整備や活動を行う経費です
総務費/市役所の一般的な仕事の経費です

心豊かな教育と文化・スポーツの振興



教育・生涯学習

小中学校の施設整備に9億485万円

- ・瀬戸谷小学校、大洲中学校屋内運動場耐震補強工事 <新規>
- ・青島中学校北校舎耐震補強工事 <新規>
- ・大洲小学校、西益津小学校、葉梨中学校、西益津中学校（南校舎） 青島中学校（南校舎）耐震補強実施設計など <新規> ほか

教育の充実に4億7,616万円

- ・教育備品などの整備・充実（中学校教科書改訂に伴う教科書・教材など）
- ・相談・適応指導体制の充実（特別支援教育相談員、心の教室相談員、学校生活支援員の配置など） ほか

青少年の健全育成に2,362万円

- ・補導センター運営費
- ・勤労青少年ホーム運営費 ほか

市民学習の振興に2,672万円

- ・生涯学習の推進・各種講座の開催 ほか

文化・スポーツ

市民文化の創造に9,789万円

- ・県芸術祭優秀作品展・国民文化祭準備経費 <新規>
- ・市民会館管理運営費（指定管理者制度） ほか

文化財保存と伝統文化の伝承に4,982万円

- ・郷土博物館や志太郡衛跡、田中城跡などの管理運営費
- ・市史編さん事業 ほか



学校の耐震工事を推進。写真は平成17年度、耐震工事を行った瀬戸谷小学校

教育・生涯学習・文化・スポーツ・コミュニティ

教育関係では、相談・適応指導体制の充実を図るとともに、新たに軽度の発達障害を持つ児童・生徒に対して特別支援教育に取り組んでいきます。施設整備では地震対策整備事業として、青島中学校北校舎や瀬戸谷小学校・大洲中学校屋内運動場の耐震補強工事、大洲小学校や西益津小学校・葉梨中学校・西益津中学校南校舎・青島中学校南校舎の耐震補強実施設計に取り組みます。

平成19年度オープンを目指す文学館の整備事業を引き続き行うとともに、芸術文化を奨励・振興していきます。

スポーツ関係では、総合運動公園内のグラウンドゴルフ場やサッカー場の利用促進を図るとともに、スポーツ教室の充実、各種大会、地域体育振興への助成を行います。

コミュニティ関係では高洲地区公民館改築の基本計画・基本設計、葉梨公民館の駐車場整備を推進します。

文化施設の充実に6億2,050万円

- ・文学館整備事業（平成17年度より2か年事業・平成19年11月開館予定）
- ・新図書館準備経費 ほか

スポーツの振興に1億1,656万円

- ・各種スポーツ大会・スポーツ少年団などへの助成
- ・体育施設管理運営費（大洲温水プール、西益津温水プール、市民体育館・武道館、市民グラウンド、市民テニスコート、勤労者体育館（指定管理者制度））

スポーツ施設の整備に1,085万円

- ・大洲温水プールの整備事業
- ・学校夜間照明改修工事

コミュニティ

市民参加のまちづくりの推進に680万円

- ・まち美化里親制度推進事業
- ・まちづくり事業への助成 <新規> ほか

男女共同参画の推進に584万円

- ・男女共同参画推進事業（条例策定経費、第2次行動計画策定経費ほか） <新規>
- ・女性相談の実施 ほか

コミュニティ活動の充実に3億2,867万円

- ・地域振興事業 <新規>
- ・各市立公民館の活動諸経費や施設整備（高洲公民館改築の基本計画・基本設計、葉梨公民館駐車場整備） ほか

安全・安心のまちづくりと産業の振興



都市基盤

市街地の整備に8億471万円

- ・青木、水守土地区画整理事業（組合施行）
- ・都市計画決定事業

下水道の整備に8億2,042万円

- ・浄化センター施設整備・汚水幹線・技線の整備
- ・葉梨西北地区農業集落排水事業 ほか

河川の整備と親水空間の形成に2億5,500万円

- ・法ノ川、高田大溝川の河川整備事業 ほか

安定した水の供給に7億410万円

- ・上水道第4次拡張事業
- ・配水管布設事業 ほか

公園・緑地の整備に3億7,335万円

- ・駅南地区近隣公園整備事業 ほか

交通基盤の整備に24億713万円

- ・主要道路網の整備（三輪立花線、天王町仮宿線、志太中央幹線、小川青島線、一里山岸線 など）
- ・藤枝駅南北自由通路整備事業
- ・原跨道橋・築地跨線橋 <新規> 耐震補強事業 ほか

安全

防災対策の充実に1億9,023万円

- ・防災対策推進費（防災倉庫整備工事、高齢者・障害者世帯家具転倒防止対策など）
- ・公共施設耐震診断・耐震補強計画費（あかしや学園、



主要道路網の整備。写真は現在整備を行っている高柳地区の小川青島線

都市基盤・安全・産業

都市基盤整備として、青木、水守地区の土地区画整理事業の計画的な事業推進に努めるとともに、主要道路網の整備についても、志太中央幹線、小川青島線、三輪立花線、天王町仮宿線などの整備を推進します。

防災対策として、自主防災組織の育成・強化、防災倉庫の整備、プロジェクトO U K A I I O事業の推進、高齢者・障害者世帯を対象とした家具などの転倒による被害を軽減するための転倒防止対策、築地跨線橋耐震補強工事など、公共施設の耐震対策に取り組んでいきます。

消防・救急対策としては、新たにA E D（自動体外式除細動器）の市庁舎など10か所の公共施設への配置、消防本部通信指令センター整備などに取り組んでいきます。

産業では、農地情報システムの導入や若者を対象とした就労支援に努めます。

図書館、消防団詰所、市民体育館ほか） ほか

消防・救急体制の充実に1億4,665万円

- ・高性能消防指令センター整備事業
- ・A E D（自動体外式除細動器）整備費

交通安全の推進に1億8,247万円

- ・通学路の整備（城南下当間線・市道2地区140号線）
- ・駅南自転車駐車場管理費（指定管理者制度） ほか

産業

農業の振興に2億7,827万円

- ・土地改良事業などの農業基盤整備事業
- ・農地保有合理化推進事業

林業の振興に1億1,283万円

- ・高尾線、高根舟ヶ久保線、びく石大沢線などの林道網整備 ほか

商工業の振興に8億3,210万円

- ・中小企業への金融対策（景気対策特別貸付金など）
- ・企業立地促進事業
- ・新製品・新技術等開発事業、中小企業販路拡大出展事業への助成 ほか

観光資源の活用に3,670万円

- ・観光交流基本計画策定費 <新規>

勤労者対策や消費者対策の充実に15億7,383万円

- ・ニート・フリーター等若年者就労支援講座 <新規>
- ・勤労者への融資対策（住宅・教育資金貸付） ほか